

我孫子の文化と魅力

【講師プロフィール】

眞田 尊光 (サナダ タカミツ)

早稲田大学大学院修士課程修了(美術史学)・高野山大学大学院博士課程修了(密教学)。専門は仏教美術史・日本美術史。足立区立郷土博物館学芸員を経て現職。著書に『鑑真と唐招提寺の研究』(吉川弘文館2021)など。2023年より我孫子市文化財審議委員を務める。

山名 順子 (ヤマナ ジュンコ)

お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了。日本近世文学(後期読本)および近代文学作品を中心とした国語科教育を専門とする。著書に『化物で楽しむ江戸狂歌』(笠間書院2014)、久保朝孝編『源氏物語を開く』「初音」(武蔵野書院2021)、論文に「教室で扱う『山月記』」(『日本文学』2023)などがある。

伊藤 純 (イトウ ジュン)

早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程修了。川村学園女子大学文学部日本文化学科准教授。専門は民俗学、特に日本の祭礼や芸能の研究。主な論文に「雑誌『民俗芸能』100号の軌跡」(『民俗芸能』100、2022)、「法印神楽園の獅子舞」(『山岳修験』68、2021)がある。東京文化財研究所客員研究員などを務める。

稲村 隆 (イナムラ タカシ)

我孫子市白樺文学館非常勤学芸員を経て、2023年4月より我孫子市教育委員会の主任学芸員として着任。法政大学大学院史学専攻博士後期課程在籍中。研究テーマは大正時代の朝目新聞、白樺派、民藝運動など我孫子ゆかりの文化人の動向など。近年「稲村雑談」と題して我孫子に関連した対談をYouTube配信している。

堀部 猛 (ホリベ タケン)

筑波大学卒。早稲田大学大学院文学研究科後期博士課程中退。土浦市立博物館学芸員、上高津貝塚ふるさと歴史の広場(考古資料館)副館長を経て、2023年4月より現職。専門は日本古代史。主な著作「トネリの勘籍」(『史学雑誌』130-7、2021)、「常陸国棚島駅と「棚藻駅子」」(『日本歴史』868、2020)など。

高橋 裕子 (タカハシ ユウコ)

京都造形芸術大学大学院芸術環境専攻芸術教育分野修了(芸術学修士)。主要な研究テーマは山東京傳の意匠、大学と地域の交わりによる新たな学びの場の形成。主な論文に「意匠家としての山東京傳—『手拭合』にみる意匠の特徴(1)」があり、発表作品として「奏炎」(第16回伝統手工芸巧技ソサエティー美術展、東京都議会議長賞受賞)がある。

○会場：川村学園女子大学 我孫子キャンパス

*15日・29日は14号館大教室、22日は11号館101・102大教室

○事前申し込み：不要 入場：無料

○お問い合わせ：川村学園女子大学 事務部 電話 04-7183-0111

○協賛：川村学園女子大学同窓会



川村学園女子大学 <https://www.kgwu.ac.jp>

